

令和6年度

青森市教育委員会事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価報告書

－ 令和5年度の実績 －

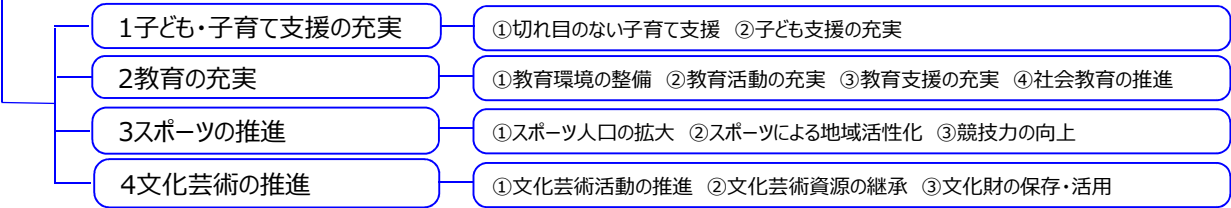
令和5年度

主要な施策の成果及び  
予算の執行実績に関する報告書  
(教育委員会事務局分)

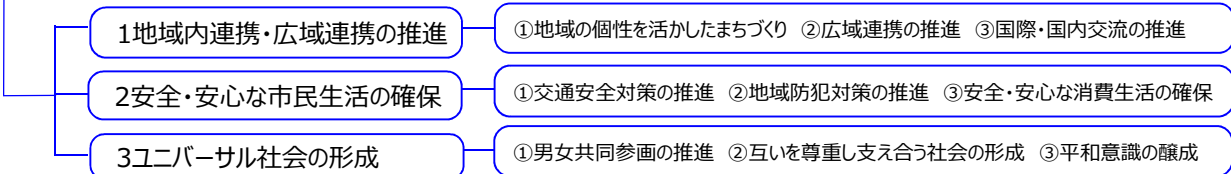
青 森 市

青森市総合計画前期基本計画の施策体系（教育委員会関係分野抜粋）

第2章 ひと創り



第3章 まち創り



施策体系	目次・主要事業名	頁	担当課名
2-1-1（総合計画） 施策3（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	1	
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	2	
	学校給食費（小・中学校）		学校給食課
	学校保健安全推進事業		学務課
	学校医等嘱託事業		学務課
	児童生徒保健衛生管理事業		学務課
2-2-1（総合計画） 施策8（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	4	
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	5	
	多文化共生に向けた日本語指導支援事業		指導課
	GIGAスクール推進事業		総務課
	小・中学校改築事業		総務課
	教育環境整備事業		総務課
	泉川小学校校舎等改築事業		総務課
2-2-2（総合計画） 施策9（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	6	
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	8	
	コミュニティ・スクール推進体制構築事業		文化学習活動推進課
	地域学校協働活動推進事業		文化学習活動推進課
	外国語指導助手（ALT）活用事業		指導課
	スミシング支援事業		指導課
	小中一貫及び小・中連携教育課程研究開発事業		指導課
家庭教育支援事業		文化学習活動推進課	

事務点検用追加事業  
事務点検用追加事業  
事務点検用追加事業

事務点検用追加事業

施策体系	目次・主要事業名	頁	担当課名		
2-2-3（総合計画） 施策2（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	10			
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	11			
		医療的ケア児支援事業		学務課	
		特別支援教育支援員配置事業		学務課	
		青森市いじめ防止対策総合推進事業		指導課	
		小・中学校安全・安心対策事業（連携）		指導課	
		教育相談適応指導事業		指導課	事務点検用追加事業
		教職員研修事業		指導課	事務点検用追加事業
		就学援助事業		学務課	事務点検用追加事業
		特別支援教育奨励費事業		学務課	事務点検用追加事業
	奨学資金貸付事業		学務課	事務点検用追加事業	
2-2-4（総合計画） 施策11（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	13			
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	14			
		図書館運営管理事業（連携）		市民図書館	
		生涯学習支援事業		中央市民センター	
2-3-3（総合計画） 施策18（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	15			
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	16			
		部活動指導員配置事業		指導課	
		スイング支援事業		指導課	事務点検用追加事業
	教職員研修事業		指導課	事務点検用追加事業	
2-4-1（総合計画） 施策15（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	17			
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	18			
		青森市民美術展示館移設事業		文化学習活動推進課	
		青森市民文化祭開催事業		文化学習活動推進課	
		小学校演劇鑑賞支援事業（連携）		指導課	
		文化振興施設運営管理事業		文化学習活動推進課	
		ねぶたアートフェスティバル2024開催事業		文化学習活動推進課	
2-4-2（総合計画） 施策16（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	19			
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	22			
		文化芸術資源活用交流事業		文化学習活動推進課	
		歴史的な文化資源保存・活用事業		文化遺産課	
		地域の歴史を将来に伝え・残す事業		市民図書館	
2-4-3（総合計画） 施策16（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	20			
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	22			
		高屋敷館遺跡管理事業		文化遺産課	
		世界遺産保存・活用事業		文化遺産課	
		青森市小牧野遺跡保護施設企画運営事業		文化遺産課	
		あおり北のまほろば歴史館企画運営事業		文化遺産課	事務点検用追加事業
3-1-3（総合計画） 施策16（振興計画）	主要な施策の報告書抜粋	21			
	事務点検（教育委員会内部用：今後の方向性）	22			
	縄文都市交流事業		文化遺産課		

施策16とつなごうのセンター統合

基本政策	第2章	ひと創り
政策	第1節	子ども・子育て支援の充実
施策	第1項	切れ目のない子育て支援

施策3

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
産婦の訪問指導実施率	保健師等による産婦への訪問指導を実施した割合	+	H29	88.9	%	目標値	96.3	100	100	100	100
						実績値	90.5	91.2	90.2	94.6	100.1
達成度評価	産婦の訪問指導実施率は100.1%となり、目標値を上回りました。										
A											
乳幼児健康診査の受診率	4か月児・7か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を受診した子どもの割合	+	H29	97.9	%	目標値	99	100	100	100	100
						実績値	98.8	99.5	97.2	98.9	100.4
達成度評価	乳幼児健康診査の受診率は100.4%となり、目標値を上回りました。										
A											

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	青森市立小・中学校給食費の無償化	<p>子育て支援の充実のため、令和4年10月1日から実施した市立小・中学校の児童生徒に提供する学校給食の全額公費負担を令和5年度も継続し、保護者負担の軽減を図りました。</p> <p>【保護者負担軽減額】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 639,356千円</li> <li>・中学校 399,248千円</li> </ul>	1,038,604	歳入 22・5・6	教育委員会 事務局 学校給食課

基本政策	第2章	ひと創り	施策3									
政策	第1節	子ども・子育て支援の充実										
施策	第1項	切れ目のない子育て支援										
前期基本計画の目標指標	指標の説明		方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
産婦の訪問指導実施率	保健師等による産婦への訪問指導を実施した割合		+	H29	88.9	%	目標値	96.3	100	100	100	100
							実績値	90.5	91.2	90.2	94.6	100.1
達成度評価	産婦の訪問指導実施率は100.1%となり、目標値を上回りました。											
A												
乳幼児健康診査の受診率	4か月児・7か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を受診した子どもの割合		+	H29	97.9	%	目標値	99	100	100	100	100
							実績値	98.8	99.5	97.2	98.9	100.4
達成度評価	乳幼児健康診査の受診率は100.4%となり、目標値を上回りました。											
A												

### 課題(計画-施策3抜粋)

本市の児童生徒の体力の状況は、全国と同水準となっているものの、体力水準が高かった昭和60年頃と比較すると依然として低い状況と推察され、今後とも筋力、持久力、柔軟性など体力向上にバランスよく取り組むことが必要です。また、健康面においても、本市の児童生徒は、これまで同様、う歯や低視力、肥満傾向、アレルギー疾患などが、健康課題となっています。

さらに、近年、子どもを取り巻く様々な不安や悩み、ストレス等に対応するため、心と体の健康に関する知識や理解、心の健康を維持していく力を持つことが必要とされています。

このことから、子どもたちの健やかな体を育むため、健康・安全意識、食に関する指導や体育活動の充実が求められています。

### 教育委員及びアドバイザーの意見

#### ▼意見①

【小学生のための食育チャレンジ・プログラム】では、「取り組み」。

【小・中学校改築事業】【教育環境整備事業】では「取組」。

表記上、統一した方がいいと考えます。

⇒ (意見への回答)

「取組」へ統一します。

#### ▼意見②

【学校医等嘱託事業】【児童生徒保健衛生管理事業】

学校三師による、健康診断を実施する旨の記載ですが、学校保健安全法施行規則の「職務執行の準則」において、学校医(第22条5項)および学校歯科医(第23条の4項)には、健康診断が明記されています。しかし、学校薬剤師の職務執行の準則では保健相談と保健指導に従事と記載のみであり、健康診断は医師・歯科医師の職務であり学校薬剤師には与えられてないことから、この範疇に加えることは誤解を招きかねません。つまり、医行為を薬剤師がおこなうことへの越権行為と捉えかねません。しかし、本項記載は学校薬剤師による尿検査を想定しているのではないかと思います。

よって、下記のような記載をしてはいかがでしょうか。

「～学校医・学校歯科医・学校薬剤師による児童生徒の健康診断・検査等を実施し～」

#### ▼意見③

【学校医等嘱託事業】【児童生徒保健衛生管理事業】

健康診断は医師の業務(学校保健安全法施行規則 第22条・第23条)であり、学校薬剤師の業務(学校保健安全法施行規則 第24条)ではありません。

例えば、次のようにしては如何でしょうか。

「～学校医・学校歯科医・学校薬剤師による児童生徒の健康診断等を実施し、～」

⇒ (意見②③への回答)

下記のとおり修正します。

子どもの健康の保持増進を図るため、引き続き、学校保健安全法に基づき各小・中学校に配置した学校医・学校歯科医・学校薬剤師による児童生徒の健康診断・検査等を実施し、必要と認められる場合は学校から児童生徒及び保護者に対し治療勧告を行います。

**今後の方向性**

**【小学生のための食育チャレンジ・プログラム】**

令和5年度からは、各校において作成した「食育チャレンジプログラム」を、各校の実態に応じて見直しを行い、食や運動、生活習慣の指導を継続しているほか、教育委員会では、令和6年度の新たな取組として「バランスよく食べ、1日60分運動する子を育てます」を健康宣言として掲げ、各校においても「食育チャレンジ・プログラム」に「健康宣言」を盛り込みながら実施しており、引き続き、家庭とも連携し、学童期から食生活や運動、生活習慣の改善を図っていきます。

**【学校保健安全推進事業】**

子どもたちの健やかな心と体を育むため、引き続き、学校保健安全推進校の指定、青森市学校保健研究大会の開催などにより、生活習慣に関する指導の充実を図るとともに、生活習慣の改善に向けて、関係部局と連携しながら、指導の強化を図ります。

**【学校医等嘱託事業】 【児童生徒保健衛生管理事業】**

子どもの健康の保持増進を図るため、引き続き、学校保健安全法に基づき各小・中学校に配置した学校医・学校歯科医・学校薬剤師による児童生徒の健康診断・検査等を実施し、必要と認められる場合は学校から児童生徒及び保護者に対し治療勧告を行います。

**【学校給食費無償化】**

子育て支援の充実のため、市立小・中学校の児童生徒に提供する学校給食の全額公費負担を令和6年度も継続し、保護者負担の軽減を図ります。

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
青森市立小・中学校給食費の無償化	保護者負担の軽減が図られた金額	-	510,766,459円	1,038,604,577円

基本政策	第2章	ひと創り
政策	第2節	教育の充実
施策	第1項	教育環境の整備

施策8

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
学校環境の整備（トイレの洋式化率）	市内公立小・中学校施設における洋便器の割合	+	H29	26.2	%	目標値	39.0	41.0	48.0	49.0	50.0
						実績値	44.3	45.6	58.0	58.4	69.1
達成度評価	学校環境の整備（トイレの洋式化率）は69.1%となり、目標値を上回りました。										
A											

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	多文化共生に向けた日本語指導支援事業	青森市立小・中学校に在籍する、日本語指導が必要な外国人児童生徒へ適切な支援、指導を行いました。 【令和5年度実績】 支援員の派遣実績 652回	5,340	10・1・2	教育委員会 事務局 指導課
継続	GIGAスクール推進事業	Society 5.0時代に生きる子供たちの未来を見据え、児童生徒向けの1人1台学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する「GIGAスクール構想」の実現に取り組みました。 【令和5年度実績】 改築工事を行った筒井小学校と西中学校屋内運動場の校内無線LAN整備を行いました。	20,020	10・1・2	教育委員会 事務局 総務課
継続	小・中学校改築事業	学校施設の老朽化に対応する改築を行い、安全・安心な施設環境を確保し、教育環境の向上を図りました。 【令和5年度実績】 ・造道小学校 改築に向けて実施設計を行いました。 ・筒井小学校 校舎等の改築工事（3か年の3年目）が完了し、旧校舎の解体工事に着手しました。 ・西中学校 屋内運動場改築工事（2か年の2年目）が完了し、旧屋内運動場解体工事に着手しました。	1,538,207	10・2・3 10・3・3	教育委員会 事務局 総務課
継続	教育環境整備事業	老朽化した学校の屋上防水改修やトイレの洋式化などの改修を行い、教育環境の改善と建物の耐久性の確保を図りました。 【令和5年度実績】 ・三内小学校で屋上防水工事などを行いました。 ・沖館小学校で屋上防水工事などを行いました。 ・小学校6校でトイレの洋式化工事を行いました（浪打、古川、篠田、荒川、野内、沖館） ・中学校3校でトイレの洋式化工事を行いました（浪打、甲田、造道）	467,893	10・2・1 10・3・1	教育委員会 事務局 総務課
新規	泉川小学校校舎等改築事業	学校施設の老朽化に対応するため、建物の構造耐力や健全度などの調査に取り組みました。 【令和5年度実績】 泉川小学校の校舎と屋内運動場の耐力度調査を行いました。	10,956	10・2・3	教育委員会 事務局 総務課

基本政策	第2章	ひと創り
政策	第2節	教育の充実
施策	第1項	教育環境の整備

施策8

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
学校環境の整備（トイレの洋式化率）	市内公立小・中学校施設における洋便器の割合	+	H29	26.2	%	目標値	39.0	41.0	48.0	49.0	50.0
						実績値	44.3	45.6	58.0	58.4	69.1
達成度評価	学校環境の整備（トイレの洋式化率）は69.1%となり、目標値を上回りました。										
A											

**課題(計画-施策8抜粋)**

知・徳・体のバランスの取れた児童生徒を育成する教育を実現するためには、児童生徒が学ぶ学校を安全、安心で、質の高い教育を受けられる環境とする必要があります。  
 このことから、小・中学校において、学校施設や教材等の充実、通学から帰宅に至るまでの安全な教育環境が求められています。  
 また、全国的に公立小・中学校施設は、昭和40年代後半から50年代の児童生徒数の急増期に建設されたものが多く、国・地方とも厳しい財政状況の中、これらの施設が一斉に更新時期を迎えつつあることが大きな課題となっています。  
 本市においても、校舎の築年数が30年以上経過している学校施設が6割を超える状況となっており、公共施設等全体の統一的なマネジメントの取組方針を定める「青森市ファシリティマネジメント推進基本方針」を踏まえた老朽化などへの対応を計画的に進めていく必要があります。

**教育委員及びアドバイザーの意見**

▼意見①  
**【GIGAスクール推進事業】**  
 当該事業は、実績として情報端末はR3：0.91台、R4：1台、R5：1台（人）とすでに達成している事業を今後の方向性として記載する理由はどこにあるのでしょうか。記載するなら理由が必要だと思います。理由がなければ、「少なくとも1人1台端末」は削除ではないでしょうか。  
 よって、「通信ネットワークシステムのさらなる充実をはかり、安全・快適で質の高い教育ができる環境づくりを進めます。」のような表現はいかがですか。  
 ⇒（意見への回答）  
 1人1台端末につきましては、令和4年度に全学年への配備が完了したところですが、今後、5年程度のサイクルで端末の更新が必要となるため、1人1台端末についても記載しているところです。

**今後の方向性**

**【多文化共生に向けた日本語指導支援事業】**  
 日本に移住、長期滞在する外国籍の家族数が増えていることから、日本語支援員を配置し、当該児童生徒の日本語能力に応じた日本語支援、生活支援、通訳支援を実施します。

**【GIGAスクール推進事業】**  
 「GIGAスクール構想」実現のため、1人1台端末や高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するなど、安全・快適で質の高い教育を受けることができる環境づくりを進めます。

**【小・中学校改築事業】 【教育環境整備事業】**  
 少子化を背景とした児童生徒の減少や学校施設の老朽化が進行していることから、適正な学校規模の確保や学校施設等の老朽化に対する取組を継続するとともに、安全・快適で質の高い教育を受けることができる環境づくりを進めます。

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
多文化共生に向けた日本語指導支援事業	支援員の派遣実績	-	-	652回
GIGAスクール推進事業	児童生徒1人当たりの端末台数（1人1台端末）	0.91台/人	1台/人	1台/人
小・中学校改築事業	改築を行った校数	3校	3校	3校
教育環境整備事業	中規模改修を行った校数	5校	3校	4校
教育環境整備事業	学校トイレ洋式化改修を行った校数	9校	0校	9校



基本政策	第2章	ひと創り
政策	第2節	教育の充実
施策	第2項	教育活動の充実

施策9

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
学習指導への評価◎	市内公立小・中学校の児童生徒に対するアンケートの「学習指導」に関する項目について、「理解している」「概ね理解している」と回答した割合	+	H29	91.1	%	目標値	91.1	91.1	91.1	91	91.1
						実績値	90.8	91.6	90.8	90.6	90.8
達成度評価	学習指導への評価は90.8%となり、目標値を下回りました。										
B											
保護者・地域住民との連携への評価	市内公立小・中学校の保護者に対するアンケートの「保護者・地域住民との連携」に関する項目について、「連携している」「概ね連携している」と回答した割合	+	H29	92.5	%	目標値	92.5	92.5	92.5	92.5	92.5
						実績値	93.7	93.5	92.7	92.3	93.1
達成度評価	保護者・地域住民との連携への評価は93.1%となり、目標値を上回りました。										
A											

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	コミュニティ・スクール推進体制構築事業	<p>保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」を導入し、地域の力を学校運営に生かすことにより、学校が抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みを構築し、地域とともにある次世代の学校づくりの実現を図りました。</p> <p>【令和5年度実績】 4中学校区12小中学校</p> <p>・浪打中学校区、佃中学校区、荒川中学校区、新城中学校区</p> <p>(8中学校区27小中学校 → 12中学校区39小中学校)</p>	1,257	10・5・1	教育委員会事務局 文化学習活動推進課
継続	地域学校協働活動推進事業	<p>学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えるため、また、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」へ更に発展させるため、地域学校協働本部を設置し、地域住民が地域ボランティアとして教育活動の支援等を行いました。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校 19本部61校（全ての小・中学校）</li> <li>・活動内容 学習支援、部活動指導、環境整備、登下校安全指導、学校行事支援等</li> <li>・ボランティア登録者数 2,894人</li> <li>・活動参加者数（延べ） 36,565人</li> <li>・活動日数（延べ） 9,151日</li> </ul>	4,000	10・5・1	教育委員会事務局 文化学習活動推進課
継続	外国語指導助手（ALT）活用事業	<p>英語を母語とする外国語指導助手（ALT）を小・中学校に派遣し、授業等において、自国文化の紹介や、英語の発音、表現方法等についての指導補助を行いました。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの人数 17人</li> <li>・小・中学校における外国語指導助手を活用した授業時間 9,409時間</li> </ul>	85,402	10・1・2	教育委員会事務局 指導課

継続	スイミング支援事業	<p>学校プール未設置校や、老朽化に伴う故障等でプールを使用できなくなった学校が増えている中で、本事業により水泳授業を実施し児童の体力の向上を図り、水難事故防止の指導も行いました。</p> <p>【令和5年度実績】          水泳授業実施校 小学校40校          着衣泳実施校 小学校31校</p>	9,231	10・6・1	教育委員会 事務局 指導課
継続	小中一貫及び小・中連携教育課程研究開発事業	<p>これまでの研究成果を踏まえつつ、小中一貫・連携教育の取組や他の研究指定校の成果や課題を参考に、中学校区の学校課題解決に向けた共通の取組や実践研究の成果発表を行いました。</p> <p>【令和5年度実績】          3中学校区（浪岡、浦町、東）において、研究成果の公開発表会を開催しました。</p>	430	10・1・2	教育委員会 事務局 指導課

基本政策	第2章	ひと創り	施策9									
政策	第2節	教育の充実										
施策	第2項	教育活動の充実										
前期基本計画の目標指標	指標の説明		方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
学習指導への評価◎	市内公立小・中学校の児童生徒に対するアンケートの「学習指導」に関する項目について、「理解している」「概ね理解している」と回答した割合		+	H29	91.1	%	目標値	91.1	91.1	91.1	91	91.1
							実績値	90.8	91.6	90.8	90.6	90.8
達成度評価	学習指導への評価は90.8%となり、目標値を下回りました。											
B												
保護者・地域住民との連携への評価	市内公立小・中学校の保護者に対するアンケートの「保護者・地域住民との連携」に関する項目について、「連携している」「概ね連携している」と回答した割合		+	H29	92.5	%	目標値	92.5	92.5	92.5	92.5	92.5
							実績値	93.7	93.5	92.7	92.3	93.1
達成度評価	保護者・地域住民との連携への評価は93.1%となり、目標値を上回りました。											
A												

### 課題(計画-施策9抜粋)

いじめ、暴力行為、不登校などといった学校における様々な課題や教職員の多忙化などにより、学校の教職員だけでは義務教育段階における全ての課題を解決することは難しくなっている状況にあり、家庭や地域と連携した対応が必要となっています。

このことから、学校・家庭・地域における連携の下、良質できめ細かな学校教育を行うため、保護者や地域住民の力を学校運営に生かす仕組みや、地域住民の参画により子どもたちの学びを支援する体制づくりを進めるとともに、家庭における親子の育ちを支援する家庭教育支援の取組が求められています。

### 教育委員及びアドバイザーの意見

#### ▼意見①

##### 【スイミング支援事業】

施策9では交通費、使用料負担。施策18は着衣泳実施校の充実。

費用負担と実施校充実となり、「ひと創り」の一環として、片や「教育の充実」、片や「競技力の向上」となっています。目的は違えど、内容は自校プールがないのでプール施設を借用して着衣泳を学ばせることだと思います。ひとつにまとめた方がコンパクトになるのではないのでしょうか。

⇒(意見への回答)

施策9については、環境整備という観点からスイミングの支援について掲載しており、施策18においては、スポーツの振興において、安全面の視点から着衣泳の取組を記載しておりますので、原案のとおりとします。

#### ▼意見②

##### 【小中一貫及び小・中連携教育課程研究開発事業】

「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」を育成するために一貫校や連携教育が必須であるということなのでしょうか？

⇒(意見への回答)

教育委員会では、9年間の系統性・連続性を意識した取組や中学校区の目指す子ども像を意識した教育課程を編成・実施することで、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の育成につながるものと捉えており、全ての学校で実施しています。

## 今後の方向性

### 【コミュニティ・スクール推進体制構築事業】

学校運営協議会の設置校においては、学校運営協議会が充実した会議になるよう、設置校で開催している学校運営協議会に教育委員会が出席し、助言等の支援により、学校・地域それぞれが抱える課題の共有や解決に導く協議を重ね、地域の教育力の向上を図り、地域とともにある次世代の学校づくりの実現を目指します。

本市の学校運営協議会の特色としては、既存組織である「学校評議員」や「児童生徒健全育成会議」及び「学校保健委員会」を整理し、学校運営協議会に一体化することで、教職員の負担軽減につなげる学校業務の効率化、また、中学校区で学校運営協議会を設置することで、複数校での一体的運営が可能となり、9年間を見通した系統的な教育課程及び学校運営を行うことができるほか、中学校区全体で学校と地域の協働・協議の推進が図られ、学校と地域が一体となった多様な取組が期待できます。

### 【地域学校協働活動推進事業】

地域学校協働活動推進事業の実施校においては、地域学校協働活動が継続して行われるよう、学校訪問等による支援を継続していくとともに、学校運営協議会の設置校においては、地域学校協働本部と学校運営協議会が連携し、学校の意向や地域の実情を踏まえながら、引き続き学校・家庭・地域が一体となって子どもを育む体制の整備に取り組みます。

また、地域ボランティアの活動事例や導入効果、関係者の声などを、様々な機会を捉えて広く紹介し、新たな地域ボランティアの獲得に努め、地域学校協働活動の充実に向け取組を継続していきます。

### 【外国語指導助手（ALT）活用事業】

外国語指導助手については、児童生徒一人一人の英語力やコミュニケーション能力の向上、異文化理解が促進するよう英語を母語とする外国語指導助手を各小・中学校へ派遣します。また、教職員の外国語活動・外国語科における指導力向上が図られるよう努めます。

### 【スイミング支援事業】

プール未設置校やプールが使用できなくなった学校の児童が水泳授業を受けるため、交通費やプールの使用料を負担するとともに、児童生徒の水難事故防止の観点から今後も全ての小・中学校で着衣泳の授業を実施できるよう支援に努めます。

### 【小中一貫及び小・中連携教育課程研究開発事業】

新学習指導要領を目指す「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」を育成するため、本市の重点課題としている「学力、不登校、特別支援教育、夢や志を育む教育活動」に係る研究指定校を設置し、実践研究を行います。

### 【学校安全総合支援事業】

地震や大雨等による自然災害が頻発している現況のもと、津波または洪水被害が予想される4中学校区において、自助・公助・実践的・実効的な防災教育を推進するため、地域住民と連携し、かつ、避難者の多様性に配慮した避難所運営訓練を実施します。

### 【家庭教育支援事業】

家庭教育支援活動の拠点となる「青森市子育てサポートセンター」において、家庭における教育力の向上に資する学習機会の提供や相談対応、情報提供などを行います。また、学校や市PTA連合会と連携し、学校・家庭・地域が一体となった教育力向上研修講座を実施するとともに、啓発のためのリーフレットを作成し、配布します。

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
コミュニティ・スクール推進体制構築事業	コミュニティ・スクールの実施校	実施校 8中学校区の小・中学校計28校	実施校 8中学校区の小・中学校計27校	実施校 12中学校区の小・中学校計39校
地域学校協働活動推進事業	①地域学校協働活動の実施校、活動内容※、②ボランティア登録者数、③活動参加者数（延べ）、④活動日数（延べ） ※学習支援、部活動指導、環境整備、登下校安全指導、学校行事支援等	①19本部62校（全ての小・中学校） ② 2,484人 ③ 26,235人 ④ 5,286日	①19本部61校（全ての小・中学校） ② 2,456人 ③ 33,877人 ④ 7,488日	①19本部61校（全ての小・中学校） ② 2,894人 ③ 36,565人 ④ 9,151日
外国語指導助手（ALT）活用事業	外国語青年の人数（上段） 小学校におけるALTを活用した授業時数（下段）	17人 4,609時間	17人 2,911時間	17人 6,556時間
スイミング支援事業	交通費負担実績（上段） プール使用料負担実績（下段）	7校 2校	17校 4校	26校 4校
小中一貫及び小・中連携教育課程研究開発事業	小中一貫及び小・中連携事業（3年間の実践研究 初年度の学校数）	小学校 12校 中学校 3校	小学校 7校 中学校 4校	小学校 8校 中学校 4校
家庭教育支援事業	①家庭教育学級の実施校数、講座数、参加者数、②うとう家庭教育学級の講座数、参加者数、③子育て講座の講座数、参加者数	①11校、17回、323人 ②10回、102人 ③6回、50人	①19校、40回、1,895人 ②10回、41人 ③7回、62人	①11校、22回、980人 ②10回、85人 ③7回、83人

基本政策	第2章	ひと創り
政策	第2節	教育の充実
施策	第3項	教育支援の充実

施策2

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
いじめ防止対策への評価	市内公立小・中学校の保護者に対するアンケートの「いじめ防止対策」に関する項目について、「対応している」「概ね対応している」と回答した割合	+	H29	88.4	%	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
						実績値	89.9	91.0	90.3	89.9	88.5
達成度評価	いじめ防止対策への評価は、88.5%となり、目標値を下回りました。										
B											

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
新規	医療的ケア児支援事業	<p>医療的ケア児が医療的ケア児でない児童と共に教育を受けられるよう、学校に看護師等を配置するなど、適切な支援を行うための体制を整備しました。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師等を配置した小学校数 1校</li> </ul>	3,934	10・1・1	教育委員会事務局学務課
継続	特別支援教育支援員配置事業	<p>青森市立小・中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする普通学級の児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学校生活上の介助や学習活動上の支援を適切に受けられるような体制を整備しました。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置校及び配置人数</li> <li>小学校 36校、48人</li> <li>中学校 2校、2人</li> </ul>	34,763	10・1・1	教育委員会事務局学務課
継続	青森市いじめ防止対策総合推進事業	<p>いじめ防止対策審議会やいじめ問題対策連絡協議会の開催により、いじめ対応への見直しや関係機関等との連携が図られました。また、1人1台端末を活用した教育相談等の実施により、いじめを早期に発見できたこと、対応に苦慮している学校へ緊急支援チームを派遣する等の支援により、解消率は高い状況を維持しました。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止対策審議会の開催 3回</li> <li>・いじめ問題対策連絡協議会の開催 3回</li> <li>・1人1台端末を活用した教育相談 278件</li> <li>・緊急支援チームの派遣 8件</li> <li>・いじめの解消率 78.5%</li> </ul>	801	3・1・4	教育委員会事務局指導課
継続	小・中学校安全・安心対策事業(連携)	<p>子どもたちが利用している、パソコンやタブレット、スマートフォンを介したSNSへの悪質な書き込み、個人への誹謗中傷などのいじめに繋がるような書き込みを検索することにより、その利用実態を把握し、子どもたちが被害者や加害者にならないよう未然防止に取り組みました。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に情報提供した件数 297件</li> </ul>	4,389	3・1・4	教育委員会事務局指導課

基本政策	第2章	ひと創り										
政策	第2節	教育の充実										
施策	第3項	教育支援の充実										
前期基本計画の目標指標	指標の説明		方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
いじめ防止対策への評価	市内公立小・中学校の保護者に対するアンケートの「いじめ防止対策」に関する項目について、「対応している」「概ね対応している」と回答した割合		+	H29	88.4	%	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
							実績値	89.9	91.0	90.3	89.9	88.5
達成度評価	いじめ防止対策への評価は、88.5%となり、目標値を下回りました。											
B												

**課題(計画-施策2抜粋)**

核家族化や少子化が進行する中で、子どもの生活体験や体験活動が不足し、規範意識の低下やマナーの欠如が指摘されています。また、学校においては、いじめ、暴力行為、不登校などの様々な課題があります。とりわけ、不登校については、不登校児童生徒数の割合が依然として高いことに加え、不登校の解消率の横ばい状態が続いています。

また、インターネット上の有害情報の氾濫など、子どもだけでは、防ぐことが難しい問題もあります。このような環境において、子どもたちの豊かな心を育むため、引き続き、児童生徒の心を育む指導や体験活動の充実、有害情報から身を守る取組が求められています。

**教育委員及びアドバイザーの意見**

- ▼意見①  
 特別支援教育支援員配置事業において、支援員の向上、具体的実践に関する研修会、情報交換会などの実施状況やその充実について記載してはいかがでしょうか。  
 ⇒ (意見への回答)  
 御意見のとおり修正します。  
 「小・中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対し、引き続き、特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する子どもたちの教育環境の充実を図ります。また、特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援に係る研修会を通して、特別支援教育支援員の資質向上を図ります。」
- ▼意見②  
 (1)【青森市いじめ防止対策総合推進事業】  
 ～研修講座を開催するとともに、いじめ防止の～。  
 (2)【教育相談適応指導事業】  
 ～メール相談～を行います。～  
 (1)：脱字ではないでしょうか。  
 (2)：読点は不要ではないでしょうか。  
 ⇒ (意見への回答)  
 (1)、(2)ともに御意見のとおり修正します。
- ▼意見③  
 【小・中学校安全安心対策事業(連携)】  
 課題(計画-施策2抜粋)の下から3行目から、インターネット上の有害情報氾濫などの問題を挙げております。そのために豊かな心を育むための指導や体験活動の充実、有害情報からの身を守る取組について記載しています。しかし、10ページでは主要事業名として「小・中学校安全安心対策事業(連携)」(継続)として決算額も記載されていますが、継続となっているものの、今後の方向性の中にはそれを類推させる具体的な内容が記載されていないように思います。主にいじめ対策だけに感じられます。豊かな心はライフスキルの醸成ではないかと思えます。加えた方がよろしいのではないのでしょうか。それとも予算計上は令和5年度で終了したのですか？
- ▼意見④  
 【小・中学校安全・安心対策事業(連携)】  
 例えば、次のようにしては如何でしょうか。  
 「SNSへの誹謗中傷などの悪質な書き込みを検索し、子どもたちが被害者や加害者にならないよう取り組みます。」  
 ⇒ (意見③④への回答)  
 今後の方向性に「有害情報等から身を守るため、引き続き、インターネット上の書き込み等の利用実態の把握に努めます。」と付け加えます。  
 施策2の事業ではありませんが、夢や志をもって挑戦する児童生徒の育成を目指し、各種事業に取り組んでいます。

## 今後の方向性

### 【医療的ケア児支援事業】

医療的ケア児が医療的ケア児でない児童と共に教育を受けられるよう、学校に看護師等を配置するなど、適切な支援を行うための体制を引き続き整備します。

### 【特別支援教育支援員配置事業】

小・中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対し、引き続き、特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する子どもたちの教育環境の充実を図ります。また、特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援に係る研修会を通して、特別支援教育支援員の資質向上を図ります。

### 【青森市いじめ防止対策総合推進事業】

いじめ防止啓発ポスターや相談カードを作成して、全小・中学校に周知するとともに、教職員を対象としたいじめに係る研修会を実施します。また、教育委員会は学校と保護者が共に学ぶ研修講座を開催するとともにいじめのリーフレットを配布するなど、いじめ防止の問題への取組の充実を図ります。

### 【小・中学校安全・安心対策事業（連携）】

有害情報等から身を守るため、引き続き、インターネット上の書き込み等の利用実態の把握に努めます。

### 【教育相談適応指導事業】

いじめや不登校をはじめとする様々な悩みを抱える児童生徒・保護者・教職員等を対象に、電話相談、来室相談、メール相談を行います。また、不登校児童生徒の集団生活を行うための適応指導等の充実を図ります。

### 【教職員研修事業】

研修講座において、職務研修や領域・教科の研修に加え、本市の学校課題解決のための課題別研修を設定し、いじめや不登校等に対する理解と教職員としての資質能力の向上を図ります。

### 【就学援助事業】

経済的理由により義務教育への就学ができない児童生徒が発生しないよう、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品費等の就学に必要な費用の一部を支給し、引き続き、経済的負担の軽減を図ります。

### 【特別支援教育奨励費事業】

特別支援学級等に在籍する児童生徒数は増加傾向にあることから、児童生徒の就学を奨励するため、学用品費等の就学に必要な費用の一部を支給し、引き続き、経済的負担の軽減を図ります。

### 【奨学資金貸付事業】

経済的理由により修学が困難となっている高等学校及び大学等に在学している生徒学生に対して、修学や進学を断念することのないよう、奨学金を無利子で貸与し、引き続き、修学上の経済的負担軽減及び教育機会の確保を図ります。

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
医療的ケア児支援事業	医療的ケアを行う看護師等を配置した小中学校数	—	—	1校
特別支援教育支援員配置事業	特別支援教育支援員を配置した校数及び人数	小) 36校、42人 中) 6校、6人 計 42校、48人	小) 36校、46人 中) 4校、4人 計 40校、50人	小) 36校、48人 中) 2校、2人 計 40校、50人
青森市いじめ防止対策総合推進事業	いじめ防止対策研修講座ⅠⅡⅢ受講者(延べ)	190人	188人	186人
小・中学校安全・安心対策事業(連携)	学校に情報提供した件数	39件	328件	297件
教育相談適応指導事業	児童生徒保護者からの相談件数 ※クローム：1人1台端末(クロームブック)からの相談件数	電話 213件 来室 77件 メール 19件 クローム※ 299件 合計 608件	電話 266件 来室 188件 メール 8件 クローム※ 378件 合計 840件	電話 311件 来室 83件 メール 35件 クローム※ 278件 合計 707件
教職員研修事業	いじめ・不登校に関係する研修講座の実績数	7講座	8講座	7講座
就学援助事業	就学援助費の延べ支給人数	小) 4,155人 中) 2,135人 計 6,290人	小) 4,012人 中) 1,711人 計 5,723人	小) 3,583人 中) 1,982人 計 5,565人
特別支援教育奨励費事業	特別支援教育奨励費の延べ支給人数	小) 481人 中) 140人 計 621人	小) 697人 中) 173人 計 870人	小) 771人 中) 187人 計 958人
奨学資金貸付事業	奨学金の貸与対象数	高) 8人 大) 2人 計 10人	高) 5人 大) 1人 計 6人	高) 1人 大) 1人 計 2人

基本政策	第2章	ひと創り	施策11									
政策	第2節	教育の充実										
施策	第4項	社会教育の推進										
前期基本計画の目標指標	指標の説明		方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
市民1人が1年間に図書館や市民センター等の施設を利用した回数	各年度における市民図書館、青森地区市民センター、浪岡地区公民館、細野山の家の利用者の合計を本市の人口で除した数		+	H29	4.9	回	目標値	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
							実績値	4.8	3.0	3.1	3.7	4.1
達成度評価	市民1人が1年間に図書館や市民センター等の施設を利用した回数は4.1回となり、目標値を下回りました。											
B												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	図書館運営管理事業 (連携)	図書館の利用者に快適な環境を提供するため、図書の貸出やレファレンスサービス等の窓口等業務及び施設の運営管理を行いました。  【令和5年度実績】 ・年間入館者数 428,703人	133,689	10・5・3	教育委員会 事務局 市民図書館
継続	生涯学習支援事業	中央市民センターをはじめとする市内各地区にある11市民センターを地域づくりの活動拠点・学習拠点施設として市民の生涯の各段階を通じた自主的な学習活動を支援するため、誰もが学習・活動・発表できる場や情報を提供しました。  【令和5年度実績】 ・市民センターで開催する教育活動の参加者数 39,491人	7,556	10・5・2	教育委員会 事務局 中央市民センター



基本政策	第2章	ひと創り										
政策	第2節	教育の充実										
施策	第4項	社会教育の推進										
前期基本計画の目標指標		指標の説明	方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
市民1人が1年間に図書館や市民センター等の施設を利用した回数		各年度における市民図書館、青森地区市民センター、浪岡地区公民館、細野山の家の利用者の合計を本市の人口で除した数	+	H29	4.9	回	目標値	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
							実績値	4.8	3.0	3.1	3.7	4.1
達成度評価		市民1人が1年間に図書館や市民センター等の施設を利用した回数は4.1回となり、目標値を下回りました。										
B												

課題(計画-施策11抜粋)

市民の学習状況については、全市的に講座参加者が増加傾向にあるものの、地域や講座内容ごとに増減のバラつきがあります。市民が生涯にわたって学習し、地域の中で自立した高齢期を送るとともに、これまでの人生での豊かな経験や知識・技能を生かす機会が必要となっています。

このことから、市民センター等において、市民の生涯の各段階を通じた自主的な学習を支えるため、学習機会の充実につながる取組が求められています。

また、市民図書館においては、生涯学習拠点の一つとして、社会情勢等の変化や市民の知的要望に応えるため、図書館サービスの充実を図る取組が求められています。

教育委員及びアドバイザーの意見

▼意見①  
 施策11に関連して  
 現在、青森県生涯学習審議会にて、まとめつつある答申では、障がいがある方の生涯学習を主題としております。これに関連して、障がいがある方の生涯学習の機会について、青森市としてはどのように見ておられるのか、「今後の方向性」にて可能な範囲での記載をご検討いただけますと幸いです。

⇒(意見への回答)  
 障がいがある方の生涯学習の機会としては、中央市民センターにおいて、知的障がいや聴覚障がいがある方等を対象とした講座を実施していますので、【生涯学習支援事業】の「今後の方向性」の記載を下記のとおり修正します。

あわせて、市民図書館においても障がいがある方への取組を行っていますので【図書館運営管理事業(連携)】の「今後の方向性」の記載を下記のとおり修正します。

【図書館運営管理事業(連携)】

図書館の利用者に快適な環境を提供するため、図書の貸出やレファレンスサービス等の窓口等業務及び施設の運営管理を行います。

また、読書バリアフリー推進のため、視覚に障がいがある方等が利用しやすい図書資料の収集、貸出や朗読サービスの提供、サピエ図書館などの専門機関と連携するなど、読書環境の整備を図ります。

【生涯学習支援事業】

今後も引き続き地域づくりの活動拠点・学習拠点施設として、地区市民センター等を管理運営している指定管理者と連携・協力しながら多様な幅広い世代のニーズを踏まえた講座を開催するほか、学習機会等の情報発信や活動の場及び活動成果の発表機会の提供など、年齢・性別・障がいの有無に関わらず全ての市民の自主的な学習活動を支援する環境づくりに取り組んでいきます。

今後の方向性

【図書館運営管理事業(連携)】

図書館の利用者に快適な環境を提供するため、図書の貸出やレファレンスサービス等の窓口等業務及び施設の運営管理を行います。

また、読書バリアフリー推進のため、視覚に障がいがある方等が利用しやすい図書資料の収集、貸出や朗読サービスの提供、サピエ図書館などの専門機関と連携するなど、読書環境の整備を図ります。

【生涯学習支援事業】

今後も引き続き地域づくりの活動拠点・学習拠点施設として、地区市民センター等を管理運営している指定管理者と連携・協力しながら、多様なニーズを踏まえた講座を開催するほか、学習機会等の情報発信や活動の場及び活動成果の発表機会の提供など、年齢・性別・障がいの有無に関わらず全ての市民の自主的な学習活動を支援する環境づくりに取り組んでいきます。

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
図書館運営管理事業(連携)	年間入館者数	339,818人	407,204人	428,703人
生涯学習支援事業	市民センターで開催する教育活動の参加者数	17,842人	25,112人	39,491人

基本政策	第2章	ひと創り
政策	第3節	スポーツの推進
施策	第3項	競技力の向上

施策18

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値				R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（個人競技）	個人競技でのスポーツ賞・スポーツ奨励賞受賞者数	+	H30	109	人	目標値	111	113	115	117	119
						実績値	75	44	67	92	133
達成度評価	スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（個人競技）は133人となり、目標値を上回りました。										
A											
スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞団体数（団体競技）	団体競技でのスポーツ賞・スポーツ奨励賞受賞団体数	+	H30	18	団体	目標値	19	21	23	25	27
						実績値	17	14	18	24	32
達成度評価	スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞団体数（団体競技）は32団体となり、目標値を上回りました。										
A											

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	部活動指導員配置事業	<p>生徒のスポーツ活動及び芸術文化等の活動に親しむ機会を充実させるとともに、これまで地域で築きあげたスポーツ活動及び芸術文化等の活動の維持・継続を図るため、中学校に部活動指導員を配置しました。</p> <p>【令和5年度実績】            [配置校]            浪岡中学校（バドミントン部）、筒井中学校（陸上部）            [活動内容]            部活動の顧問として指導や大会・練習試合への引率 等</p>	629	10・6・1	教育委員会事務局指導課

施策18

基本政策	第2章	ひと創り
政策	第3節	スポーツの推進
施策	第3項	競技力の向上

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値				R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（個人競技）	個人競技でのスポーツ賞・スポーツ奨励賞受賞者数	+	H30	109	人	目標値	111	113	115	117	119
						実績値	75	44	67	92	133
達成度評価	スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（個人競技）は133人となり、目標値を上回りました。										
A											
スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞団体数（団体競技）	団体競技でのスポーツ賞・スポーツ奨励賞受賞団体数	+	H30	18	団体	目標値	19	21	23	25	27
						実績値	17	14	18	24	32
達成度評価	スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞団体数（団体競技）は32団体となり、目標値を上回りました。										
A											

課題(計画-施策18抜粋)

本市の児童生徒の体力の状況は、全国と同水準となっているものの、体力水準が高かった昭和60年頃と比較すると依然として低い状況となっており、今後とも筋力、持久力、柔軟性など体力向上にバランスよく取り組むことが必要です。このことから、体育・保健体育の授業における運動量の確保や、児童生徒の発達の段階に見合った運動実践ができるよう、学校体育活動の一層の充実を図ることが求められているほか、児童生徒が学校体育に安心して取り組むことができるよう、スポーツ事故やスポーツ障害の防止をはじめとした安全性の向上にこれまで以上に努める必要があります。

教育委員及びアドバイザーの意見

▼意見①  
 【スイミング支援事業】  
 施策9では交通費、使用料負担。施策18は着衣泳実施校の充実。費用負担と実施校充実となり、「ひと創り」の一環として、片や「教育の充実」、片や「競技力の向上」となっています。目的は違えど、内容は自校プールがないのでプール施設を借用して着衣泳を学ばせることだと思います。ひとつにまとめた方がコンパクトになるのではないのでしょうか。  
 ⇒（意見への回答）  
 施策9については、環境整備という観点からスイミングの支援について掲載しており、施策18においては、スポーツの振興において、安全面の視点から着衣泳の取組を記載しておりますので、原案のとおりとします。

今後の方向性

【部活動指導員配置事業】  
 部活動指導員については、休日における部活動の地域移行も見据え、安定した指導がなされることや教員の負担軽減に努めます。

【スイミング支援事業】  
 今後も児童生徒の心身の健康の保持増進、持久力を含めた体力向上にバランスよく取り組むことが必要であり、適切な水泳場が確保でき、運動の楽しさや喜びに触れ、水泳の技能や事故防止等に関わる心得を身に付けることができるよう、事業の推進を図りながら学校体育活動の一層の充実を図ります。

【教職員研修事業】  
 部活動の地域移行に伴い、技術的な指導だけでなく、部活動の位置づけへの理解やスポーツ事故、スポーツ障害の予防についての知識を身に付け、安全性の向上が図られるよう、研修の場を確保していきます。

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
部活動指導員配置事業	部活動指導員配置人数	1人	2人	5人
スイミング支援事業	着衣泳実施校数（小学校）	7校	20校	31校
教職員研修事業	スポーツ障害等に関わる研修講座の受講者数	64人	62人	62人

基本政策	第2章	ひと創り
政策	第4節	文化芸術の推進
施策	第1項	文化芸術活動の推進

施策15

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
市民1人が1年間に文化施設を利用した回数	各年度における文化施設利用者の合計を本市の人口で除した数	+	H29	1.9	回	目標値	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0
						実績値	1.7	0.4	0.6	1.1	1.3
達成度評価	市民1人が1年間に文化施設を利用した回数は1.3回となり、目標値を下回りました。										
C											

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	青森市民美術展示館移設事業	市民の文化芸術活動の活性化や駅周辺のにぎわいの創出を図るため、老朽化が進む青森市民美術展示館を、JR東日本が整備する駅ビルに移設する取組を進めました。 [スケジュール] 令和5年度：移設工事 令和6年度：4月26日より供用開始	378,567	10・5・4	教育委員会事務局 文化学習活動推進課
継続	青森市民文化祭開催事業	市民による文化芸術活動の成果を発表し、広く鑑賞の機会を提供することによって、文化芸術の創造と発展に寄与するとともに、豊かな市民性の高揚に資することを目的として市民文化祭を開催しました。 【令和5年度実績】 ・出演団体 163団体 ・参加者数（出演者・出品者及び来場者） 16,275人	830	10・5・1	教育委員会事務局 文化学習活動推進課
拡充	小学校演劇鑑賞支援事業（連携）	劇団四季による「心の劇場」及び劇団ポプラによる演劇を鑑賞する機会を設定し、本市小学生の情操を養い、芸術に親しむ心を育てました。 【令和5年度実績】 鑑賞した児童 4,031人	3,862	10・1・2	教育委員会事務局 指導課
継続	文化振興施設運営管理事業	文化会館、市民ホール、市民美術展示館、合浦亭において、指定管理者による文化振興施設の適正な管理運営を行い、各種文化芸術事業を実施しました。 【令和5年度実績】 ・文化施設利用者数 345,516人 ・文化事業実施数及び参加者 36事業 43,585人	249,588	10・5・1 10・5・4	教育委員会事務局 文化学習活動推進課
新規	ねぶたアートフェスティバル2024開催事業	ねぶた師がねぶたの技法を用いた作品NEBUCO（ねぶこ）を制作し、その「ねぶこ」を活用した展示イベントを開催することで、本市独自の新たな文化芸術の創造を目指す取組を進めました。 [スケジュール] 令和5年度：ねぶた師15人が「ねぶこ」15台制作、イベント企画 令和6年度：実行委員会組織、準備、事業実施（7/31～8/12）	13,090	10・5・1	教育委員会事務局 文化学習活動推進課

基本政策	第2章	ひと創り
政策	第4節	文化芸術の推進
施策	第1項	文化芸術活動の推進

施策15

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
市民1人が1年間に文化施設を利用した回数	各年度における文化施設利用者の合計を本市の人口で除した数	+	H29	1.9	回	目標値	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0
						実績値	1.7	0.4	0.6	1.1	1.3
達成度評価	市民1人が1年間に文化施設を利用した回数は1.3回となり、目標値を下回りました。										
C											

### 課題(計画-施策15抜粋)

市民の文化芸術活動については、今後、高齢化の進行、人口の減少などを背景に、次世代の文化芸術の担い手の減少が懸念されます。  
 また、市内で多くの文化芸術活動が実施されている中、市民の文化芸術活動の関心を一層高めるため、効果的な情報発信を行う必要があります。  
 このことから、市民の文化芸術活動に対する支援や鑑賞機会の充実に加え、本市の所蔵作品の情報を効果的に発信するなど、文化芸術活動の充実につながる取組が求められています。  
 このほか、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、国等で実施する文化プログラム（カルチュラル・オリンピアード）を、青森の文化芸術の魅力を発信する機会ととらえ、様々な取組を検討していく必要があります。

### 教育委員及びアドバイザーの意見

意見なし（事務局案のとおりとする）

### 今後の方向性

#### 【市民文化祭開催事業】

多くの市民が出演・来場し、市民による総合的な文化芸術の祭典であり、本市の文化芸術活動の推進にとって重要な事業であることから、実施団体である青森市文化団体協議会と市が連携しながら、同協議会の会員増加や幅広い世代の参画に向けてPR等に取り組むなど、引き続き事業を実施し、文化芸術の推進を図ります。

#### 【文化振興施設運営管理事業】

文化振興施設における鑑賞機会の提供、市民参加型事業など市民の文化芸術活動の推進に寄与するものであることから、多様化する市民ニーズを踏まえた事業の企画・実施に努め、引き続き事業を実施し、文化芸術の推進を図ります。

#### 【文化芸術資源活用支援事業】

包括協定を締結している京都芸術大学から講師を招き、講座・ワークショップの実施により文化芸術に係る教育普及及び人材育成を図るもので、文化芸術活動の推進につながることから、引き続き事業を実施し、文化芸術の推進を図ります。  
 ※成果の説明は施策16に記載

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
青森市民美術展示館移設事業	移設に係る業務の実施	-	設計業務	施工
青森市民文化祭開催事業	市民文化祭への出演者数・来場者数	コロナで中止	11,637人	11,784人
小学校演劇鑑賞支援事業（連携）	鑑賞児童数	2,180人	2,120人	4,031人
文化振興施設運営管理事業	文化振興事業入場者数	11,149人	43,168人	43,565人

基本政策	第2章	ひと創り										
政策	第4節	文化芸術の推進										
施策	第2項	文化芸術資源の継承										
前期基本計画の目標指標	指標の説明		方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
文化芸術資源を活用した事業に子どもが参加した割合	各年度における文化芸術資源を活用した事業への市内小・中学生の参加者数の合計を本市の児童生徒数で除した数		+	H29	21.1	%	目標値	21.7	22.3	22.9	23.5	24.1
							実績値	17.1	14.1	13.1	12.4	20.1
達成度評価	文化芸術資源を活用した事業に子どもが参加した割合は20.1%となり、目標値を下回りました。											
B												

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	文化芸術資源活用交流事業	<p>文化芸術資源の技術継承・発展や子どもの体験機会の充実と教員の資質の向上などの人材育成を図るため、包括協定を締結している京都芸術大学等と連携し、交流事業を実施しました。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ「AI急成長の時代の私たちの学び方、暮らし方を知ろう」</li> <li>戸山中学校 参加者 54名</li> <li>小柳小学校 参加者 85名</li> </ul>	450	10・5・1	教育委員会事務局 文化学習活動推進課
継続	歴史的文化的資源保存・活用事業	<p>本市の無形民俗芸能・伝統芸能の保存と地域文化の発展に寄与するため、無形民俗芸能の保存団体等における伝承活動及び後継者の育成・確保を図りました。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗・伝統芸能団体への支援数 11団体</li> </ul>	1,360	10・5・1	教育委員会事務局 文化遺産課
継続	地域の歴史を将来に伝え・残す事業	<p>平成25年度に完結した『新青森市史』を市民に提供するとともに、歴史講座等を通じて市民にその成果を還元しました。更に、本市の歴史を将来に伝え・残すため、市史編さん作業の中で収集してきた資料を適切に保存し、新資料の掘り起こしにも努め、フェイスブック等を通じて市民に紹介しました。</p> <p>また「歴史トリビア・縄文遺跡ツアー」も実施しました。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あおり歴史トリビアを読む会」開催回数 11回</li> <li>・「歴史トリビア・縄文遺跡ツアー」開催 (10月14日)</li> </ul>	1,387	2・1・2	教育委員会事務局 市民図書館

基本政策	第2章	ひと創り
政策	第4節	文化芸術の推進
施策	第3項	文化財の保存・活用

施策16

前期基本計画の目標指標	指標の説明	方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
文化財を展示及び活用した施設の入館者数	文化財を展示及び活用した各施設の入館者数の合計	+	H29	48,377	人	目標値	48,800	49,000	49,200	49,400	49,600
						実績値	48,266	20,391	29,213	37,813	45,475
達成度評価	文化財を展示及び活用した施設の入館者数は45,475人となり、目標値を下回りました。										
B											

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	高屋敷館遺跡管理事業	高屋敷館遺跡公園の保全のため、雑草木の刈払いを行うとともに、遺跡の保全状況を確認するための巡回を定期的に行いました。 【令和5年度実績】 ・管理巡回数 8回	1,328	10・5・1	教育委員会事務局 文化遺産課
継続	世界遺産保存・活用事業	関係自治体と連携し、本市に所在する三内丸山遺跡・小牧野遺跡を含む世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存・活用推進事業及び誘客・集客促進事業に取り組みました。 【令和5年度実績】 ・小牧野遺跡の来訪者 7,494人	189	10・5・1	教育委員会事務局 文化遺産課
継続	青森市小牧野遺跡保護施設企画運営事業	小牧野遺跡を中心とした出土品などの保管や展示等を行い、縄文文化の価値を正しく伝えながら、遺跡の適切な利用や遺跡保護に対する理解を深めるための事業やイベント等を実施しました。 【令和5年度実績】 ・縄文の学び舎・小牧野館の来訪者数 18,999人	660	10・5・1	教育委員会事務局 文化遺産課

施策16

基本政策	第3章	まち創り										
政策	第1節	地域内連携・広域連携の推進										
施策	第3項	国際・国内交流の推進										
前期基本計画の目標指標	指標の説明		方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
国際交流事業の参加者数	市が関わっている各種国際交流事業への参加者数		+	H29	1,343	人	目標値	1,204	1,266	1,328	1,390	1,452
							実績値	2,249	1,097	998	2,445	2,772
達成度評価	国際交流事業の参加者数は2,772人となり、目標値を上回りました。											
A												
国内交流事業の参加者数	市が関わっている各種国内交流事業への参加者数		+	H29	2,053	人	目標値	2,023	2,033	2,043	2,053	2,063
							実績値	6,030	166	466	708	3,869
達成度評価	国内交流事業の参加者数は3,869人となり、目標値を上回りました。											
A												
本市への移住者数◎	県または市の移住相談窓口等を通じて本市へ移住した人数		+	H29	17	人	目標値	26	30	34	38	42
							実績値	27	25	84	113	115
達成度評価	本市への移住者数は115人となり、目標値を上回りました。											
A												

(単位：千円)

区分	主要事業名	成果の説明	決算額	款項目等	部局課名
継続	縄文都市交流事業	<p>縄文の魅力や歴史的意義を広くPRし、観光面も考慮した、効果的にまちづくりに活かすため、縄文遺跡を有する都市間の情報共有化と発信及び縄文文化の活用による地域活性化策の調査・研究の推進を図りました。</p> <p>【令和5年度実績】 ・縄文シティサミット参加者数 181人 (開催地：東松島市)</p>	97	10・5・1	教育委員会 事務局 文化遺産課



基本政策	第2章	ひと創り	施策16									
政策	第4節	文化芸術の推進										
施策	第2項	文化芸術資源の継承										
前期基本計画の目標指標	指標の説明		方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
文化芸術資源を活用した事業に子どもが参加した割合	各年度における文化芸術資源を活用した事業への市内小・中学生の参加者数の合計を本市の児童生徒数で除した数		+	H29	21.1	%	目標値	21.7	22.3	22.9	23.5	24.1
							実績値	17.1	14.1	13.1	12.4	20.1
達成度評価	文化芸術資源を活用した事業に子どもが参加した割合は20.1%となり、目標値を下回りました。											
B												

基本政策	第2章	ひと創り	施策16									
政策	第4節	文化芸術の推進										
施策	第3項	文化財の保存・活用										
前期基本計画の目標指標	指標の説明		方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
文化財を展示及び活用した施設の入館者数	文化財を展示及び活用した各施設の入館者数の合計		+	H29	48,377	人	目標値	48,800	49,000	49,200	49,400	49,600
							実績値	48,266	20,391	29,213	37,813	45,475
達成度評価	文化財を展示及び活用した施設の入館者数は45,475人となり、目標値を下回りました。											
B												

基本政策	第3章	まち創り	施策16									
政策	第1節	地域内連携・広域連携の推進										
施策	第3項	国際・国内交流の推進										
前期基本計画の目標指標	指標の説明		方向	基準値			R1	R2	R3	R4	R5	
国際交流事業の参加者数	市が関わっている各種国際交流事業への参加者数		+	H29	1,343	人	目標値	1,204	1,266	1,328	1,390	1,452
							実績値	2,249	1,097	998	2,445	2,772
達成度評価	国際交流事業の参加者数は2,772人となり、目標値を上回りました。											
A												
国内交流事業の参加者数	市が関わっている各種国内交流事業への参加者数		+	H29	2,053	人	目標値	2,023	2,033	2,043	2,053	2,063
							実績値	6,030	166	466	708	3,869
達成度評価	国内交流事業の参加者数は3,869人となり、目標値を上回りました。											
A												
本市への移住者数◎	県または市の移住相談窓口等を通じて本市へ移住した人数		+	H29	17	人	目標値	26	30	34	38	42
							実績値	27	25	84	113	115
達成度評価	本市への移住者数は115人となり、目標値を上回りました。											
A												

**課題(計画-施策16抜粋)**

縄文遺跡などの史跡や出土品、歴史民俗資料などの本市の貴重な文化財は、郷土の歴史、伝統、文化等を理解するために欠くことができないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎をなすものです。  
 このような中、「縄文の学び舎・小牧野館（青森市小牧野遺跡保護センター）」・「小牧野の森・どんぐりの家（青森市小牧野遺跡観察施設）」や「あおり北のまほろば歴史館」の開館など、本市の文化財等を守り伝える環境が整ってきています。  
 このことから、文化財を守り伝えるため、これらの施設を活用し、文化財を大切に保存して次世代へ継承するとともに、その価値を国内はもとより世界に向けて積極的に発信していく必要があります。

**教育委員及びアドバイザーの意見**

意見なし（事務局案のとおりとする）

**今後の方向性**

- 【歴史的文化資源保存・活用事業】  
本市の無形民俗芸能・伝統芸能の保存と地域文化の発展に寄与するため、無形民俗芸能の保存団体等における伝承活動及び後継者の育成・確保を図ります。
- 【地域の歴史を将来に伝え・残す事業】  
市史編さんの成果を広く市民に伝え・残すため、歴史講座や市民図書館での展示を行うとともに小・中学校への講師派遣等も積極的に実施します。
- 【高屋敷館遺跡管理事業】【青森市小牧野遺跡保護施設企画運営事業】  
遺跡や出土品について適切に保存するとともに、PRやイベント等の実施により、国内外に情報を発信します。
- 【世界遺産保存・活用事業】  
関係自治体と連携し、本市に所在する三内丸山遺跡・小牧野遺跡を含む世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の保存・活用推進事業及び誘客・集客促進事業に継続して取り組みます。
- 【縄文都市交流事業】  
縄文の魅力や歴史的意義を広くPRし、観光面も考慮した効果的なまちづくりに活かすため、縄文遺跡を有する都市間の情報共有化と発信及び縄文文化の活用による地域活性化策の調査・研究の推進を図ります。

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
文化芸術資源活用交流事業	ワークショップ・講座・研修等への参加人数	コロナで中止	171人	139人
歴史的文化資源保存・活用事業	民俗・伝統芸能団体への支援数	コロナで中止	7団体	11団体
地域の歴史を将来に伝え・残す事業	「あおり歴史トリビアを読む会」開催回数	10回	12回	11回

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
高屋敷館遺跡管理事業	管理巡回数	10回	8回	8回
世界遺産保存・活用事業	小牧野遺跡の来訪者数	7,104人	8,631人	7,494人
青森市小牧野遺跡保護施設企画運営事業	縄文の学び舎・小牧野館の来訪者数	14,159人	18,596人	18,999人
あおり北のまほろば歴史館企画運営事業	あおり北のまほろば歴史館の来訪者数	3,944人	5,169人	13,769人

主要事業名	実績の説明	R3	R4	R5
縄文都市交流事業	縄文シティサミット参加者数	242人	100人	181人